



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 馬場 一美
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

副病院長就任のご挨拶

昭和大学歯科病院 副病院長 代田 達夫

この度、4月1日付けで副病院長を拝命いたしました顎顔面口腔外科の代田達夫と申します。馬場一美病院長、飯島毅彦副病院長と共に、患者さんから温かみと親しみを感じていただけるようなホスピタリティあふれる病院作りを行って参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昭和大学歯科病院は本学の理念である「至誠一貫」を基本として、患者さんに安全・確実な良質の歯科医療を提供することを使命としています。患者さんが気持ちよく、安心して治療をお受けいただけるよう、患者さんの目線に立って治療方針を考え、その内容を懇切丁寧に説明することを職員一同、心がけています。

当院は歯科疾患の中核病院として、昭和大学の各附属病院や地域の医療機関とも密接な連携を進めています。具体的には、う蝕や歯周病あるいは義歯などに対する専門的な歯科治療に加え、一般開業医の先生方から紹介していただいた顎・口腔領域(がく・こうくうりょういき)におけるさまざまな病気の診断と治療を行っています。これらの病気によって顎・口腔領域に異常をきたし

ますと、食べる、会話をする、飲み込むなどの機能障害を起こすことがあります。私たちは単に病気を治療するだけではなく、顎・口腔領域の審美性や機能を改善させることで、患者さんの健康維持に貢献したいと考えています。今後も修練を重ねた技術と日々の研鑽で得た最新の知識を生かし、患者さんひとりひとりに最善の歯科医療が提供できるよう努めて参ります。

最後にお願いがございます。当院は大学附属病院として歯学教育も担っており、院内で多くの学生が学んでいます。さらに、毎年多くの研修医を受け入れています。私たちは彼らを医療人として十分な社会的素養を身につけ、患者さんのことを第一にかつ真摯に考える誠実な歯科医師に育てるべく努力して参りますので、将来の歯科医療を担う彼らの実習や研修にご協力頂ければ幸いです。



朝ミーティングの様子



手術の様子

新任のご挨拶

小児歯科 診療科長 船津 敬弘



2019年4月1日付で昭和大学歯科病院小児歯科の診療科長ならびに歯学部小児成育歯科学講座の教授を拝命いたしました。

お子さんのお口の中は日々変化し、さまざまなことに繋がってまいります。虫歯がない健口な状態は丈夫な身体に繋がります。しっかりとした、かみ合わせは運動機能の発達に良い影響をあたえるでしょう。乳歯から永久歯までつづく白い歯はきっと、お子さんのさまざまな自信の源になるに違いありません。しかし、歯磨きが苦手、転んで歯をぶつける、先天的な問題などから歯が生えてこない、どうしても治療を受け入れてくれないなどお口の中を良好に保てないこともあるかと存じます。

お子さんのお口に関することでお困りのことがあれば、どのようなことでも対応いたします。治療は一般的な外来治療から入院していただく全身麻酔法まで、お子さん個人個人に適した対応をできる限り心がけております。

治療だけでなく、これから生涯を共にする歯、そのスタートとしての乳歯や生えたての永久歯の予防にも力を注いでまいります。お子さんの歯そしてお口の中全体を護ることで、お子さんの健やかな成長を支えることこそ我々小児歯科医の使命であり、喜びでもあります。従来同様、診療にあたって特別な配慮が必要な(スペシャルニーズ)方々に対応する障がい者歯科での診療も継続しております。是非ご相談いただければと存じます。



新任のご挨拶

補綴歯科 診療科長 岩佐 文則



2019年4月1日より昭和大学歯科病院補綴歯科の診療科長を拝命いたしました。就任に際しまして一言ご挨拶申し上げます。

当科は歯の一部や歯そのものを失った患者さんに、被せ物やブリッジ、入れ歯、インプラント(人工歯根)などの治療法を用いて、噛む(咀嚼)、飲み込む(嚥下)、喋る(発音)、歯並びや口元の表情を作る(審美)など、お口のさまざまな機能を回復することを目的として診療を行っています。また、日本補綴歯科学会、日本口腔インプラント学会の指導医・専門医を中心としたスタッフが、必要に応じて他科との連携を図りながら、先進性のある包括的

な治療を供給して参ります。現在進められている歯科治療のデジタル化も私達の得意とするところであり、最新技術の導入と最先端の補綴歯科医療を提供しつつ、患者さんに最適な治療法を選択できるように努力していく所存です。

超高齢社会を迎え、お口の機能を維持しながらも、お口の中の衛生管理にも配慮した治療が必要不可欠となっています。患者さんの年齢やニーズ、医学的、社会的背景にも対応した臨床判断を行えるよう、スタッフ一同、日々尽力して参りますので、お困りの時はいつでもご相談ください。今後ともご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入職員ご挨拶

2019年3月本学大学院を修了し、4月1日より矯正歯科に入職しました田代 慎です。「口の健康が全身の健康と深く関わっている」ことが広く知られ、国民の口腔内への関心は、より一層高まっております。綺麗な歯並び・咬み合わせはもちろんのこと、他科と連携し機能面を考慮した矯正歯科治療に重きをおき日々研鑽したいと考えております。

また、大学院時代に学んだ経験を糧に、さらなる研究活動の推進にも努めていきたい所存です。

長年にわたり、先輩方が培ってきた歴史と伝統を大切に”臨床・研究・教育”に従事して参ります。ご指導・ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

矯正歯科 助教(歯科) 田代 慎

今年度より美容歯科の助教として入職いたしました、長谷川実華子です。

私は33回生として昭和大学を卒業後、この歯科病院で臨床研修を行い、今年3月に大学院博士課程を修了して現在に至ります。これからも患者さんへの真心と周りの方への感謝の気持ちを忘れずに、精進して参ります。

大学名に冠している昭和から、自分の生まれ育った平成を経て、新しい令和の時代が始まりました。移り行く時代の中で、今後も本学がますます発展していくことをお祈りし、そのために微力ながら励んでいく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

美容歯科 助教 長谷川 実華子

2019年4月1日より小児歯科の助教(歯科)になりました山口真奈です。

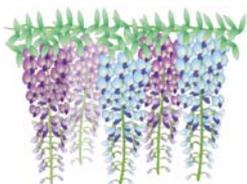
昭和大学出身で学生時代は医科歯科合同のバドミントン部にて汗を流し、チーム医療の基盤を築いてきました。

臨床研修医時は開業医にて鍛錬を積み、更なる専門的な小児の診断や治療の必要性を感じました。長期経過の症例や全身麻酔治療など幅広い経験を積みながら技術向上、精神成長を志していきたいと思っております。自分自身が目指す“子供が笑顔にかわる場所”を求め、子供の成長、未来をサポートしていける小児歯科医になれるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

小児歯科 助教(歯科) 山口 真奈

2013年に歯科医師国家試験に合格し、当院総合診療歯科にて1年間臨床研修をさせていただきました。どんな症例でも土台(歯ぐき)がしっかりしていないと良好な治療結果は得られないと考え、歯周病の治療と研究の両方を学ぶために昭和大学大学院歯学研究科(歯周病学)に入学しました。大学院時代は、歯周病学講座と口腔病理学講座の共同研究として接合上皮(歯と接している部分の上皮組織)の性質を解明する研究に従事し、歯周組織について深く勉強する機会を得ました。診療は歯周外科など高度な手術にも挑戦しているところです。今年3月に大学院を修了し、4月から歯周病学講座に入職いたしました。これまでに得た経験、知識を患者さんに還元できるよう精進いたします。

歯周病科 助教(歯科) 加藤 麻友



COOL BIZを実施しています

昭和大学では夏期に、環境省が中心となって実施されている環境対策などを目的としたクールビズ(衣服の軽装化)や地球温暖化の原因となるCO₂を削減するために、冷房時の室温を28℃にするなど昭和大学一丸となって環境対策に取り組んでおります。



当院も同様に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

クールビズ実施期間:2019年5月1日(水)~9月30日(月)
事務課



歯と口の健康週間

6月4日~10日は歯と口の健康週間です。

2019年度の標語は、「いつまでも 続けけんこう 歯の力」です。歯と口の健康は、「おいしく食べる」「楽しく会話する」など生涯にわたり健康で、生き生きとした生活を送るための基本ともなります。そして、近年では歯と口の健康が全身の健康に深く関わっていることが明らかとなっています。歯と口の健康の維持・増進、健康寿命延伸のためにも、まずはご自身の歯と口の健康状態を把握し、ご自身に合った口腔健康管理を行うことも大切となります。

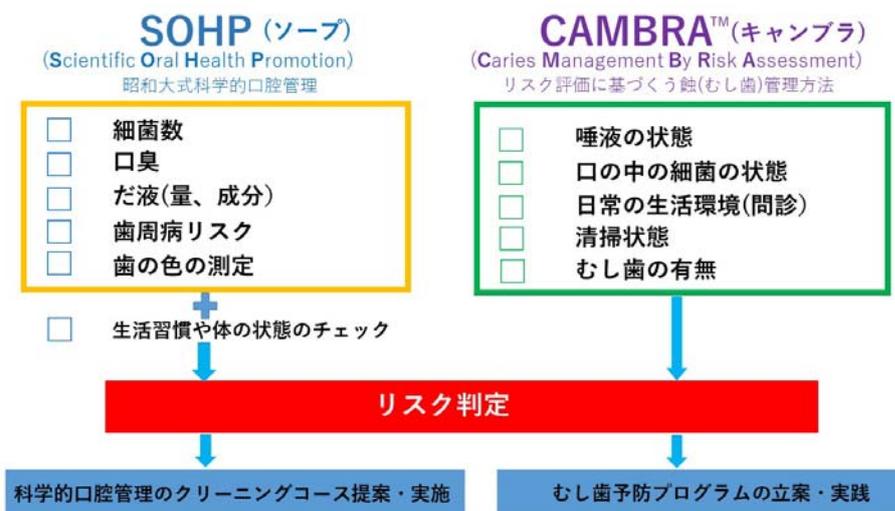
当院では、「口元からより美しく健康に！」をコンセプトに、口の中の健康維持・増進を目的とした“SOHP(ソープ)”や、「カリエス(むし歯)リスクマネジメントしながら健康な歯並びにする」をコンセプトに、むし歯の予防に特化した“CAMBRA™(キャンブラ)”など、口の中の状態を知り、適切な管理をしていくための2つのプロ

グラムを導入しています。(図参照)

特に矯正治療中は、装置が口の中に入ることによって歯磨きが難しくなり、むし歯のリスクが高くなると言われています。そのため、初診時からむし歯リスクを評価し、より良い管理ができるように、“CAMBRA™”を矯正歯科で実施しています。

まずはご自身の口の中に目を向けてみませんか？ 詳しい内容は歯科医師・歯科衛生士にご相談ください。

歯科衛生室 兼田 麻矢



編集後記

6月に歯と口の健康週間があります。お口の中で気になることはありませんか？
担当医または歯科医師にご相談ください。(K.I.)

